

平成 28 年度
筑波大学基金
活動報告及び実績報告

国立大学法人筑波大学
事業開発推進室

平成 28 年度活動報告

■活動状況

開学 40+101 周年記念募金募集期間が平成 26 年 9 月に終了し、平成 28 年度は、平成 27 年度から引き続き、個人を中心に募金活動を展開した。また、個人から募金を集める方策として、ふるさと納税大学版「筑波フューチャーシッププレミアム (TSUKUBA FUTURESHP PREMIUM) 制度」を本格的に開始した。

付帯事業としては、「筑波大学カード事業」、「筑波大学オリジナルボルドーワイン事業」を平成 27 年度から引き続き行った他、新たに「筑波大学オリジナルコーヒー事業」、「スーツ事業」を開始した。

また、7 年後の開学 50 周年を見据え、開学 50+101 周年記念募金事業の計画案を策定した。

■筑波フューチャーシッププレミアム (TSUKUBA FUTURESHP PREMIUM) 制度

安定的かつ恒常的な募金活動することを目的に、ふるさと納税大学版「筑波フューチャーシッププレミアム (TSUKUBA FUTURESHP PREMIUM)」制度を平成 27 年 9 月にスタートした。

この制度は、年度内に 3 万円以上をご寄附いただいた個人寄附者、10 万円以上をご寄附いただいた法人寄附者に対して、翌年度に本学つくば機能植物イノベーション研究センター (T-PIRC 農場) の生産品や本学関連商品を贈呈するものである。

平成 28 年度は、86 件 (内、個人 75 件、法人 11 件) が制度の対象となった。

○平成 28 年度贈呈品一覧

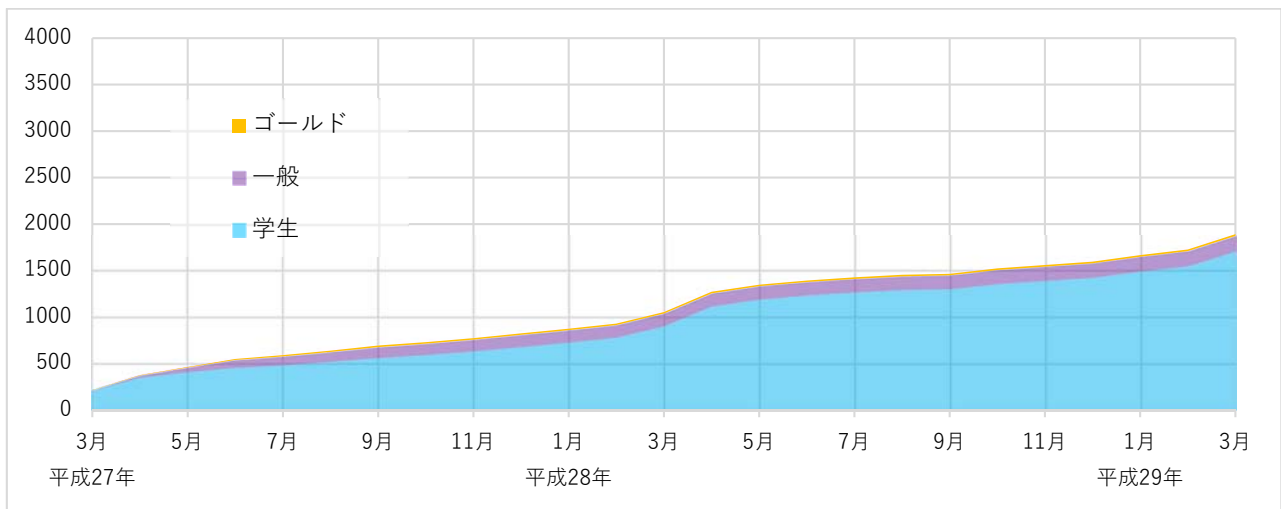
	個人	法人
年度内 3 万円以上	・米 5kg ・サツマイモ 2kg ・ボルドーワイン 1 本	
年度内 5 万円以上	・米 10kg ・サツマイモ 4kg ・ボルドーワイン 2 本	
年度内 10 万円以上	・米 20kg ・ボルドーワイン 3 本	・サツマイモ 4kg
年度内 30 万円以上	・米 30kg ・ナシ 3kg	・サツマイモ 4kg ・ボルドーワイン 4 本
年度内 50 万円以上	・米 30kg ・ナシ 3kg	・サツマイモ 6kg ・ボルドーワイン 6 本

■筑波大学カード事業

三井住友カード株式会社と提携契約を締結の上、平成 27 年度より、大学関係者を入会対象とするクレジットカード機能付き大学カード（筑波大学校友会カード）事業を開始し、平成 29 年 1 月、「筑波大学校友会」が学外に設立されたことに伴い、「筑波大学カード」に改称した。現在、5 年間でカードを 4,000 枚発行することを目標に、広報活動を展開中であるが、教職員の協力が少ないのが現状である。

なお、三井住友カード株式会社には、筑波大学カードの発行枚数と会員の利用高に応じて、筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

○筑波大学カード受付数累計推移



○寄附額	平成 28 年度筑波大学カード発行分に対し	385,560 円
	平成 28 年度筑波大学カード利用分に対し	803,741 円

■筑波大学オリジナルボルドーワイン事業

平成 26 年度、スーパーグローバル大学（SGU）に採択され、その中核を担うキャンパス・イン・キャンパス協定に基づく交流大学のひとつであるボルドー大学との連携協定締結を記念し、同大学の関連シャトーで醸造しているワインを輸入販売した。平成 27 年度はファーストラベルの赤ワインのみを取り扱っていたが、平成 28 年度は、セカンドラベルの赤・白ワインがラインナップに加わった。

なお、販売会社である株式会社カクヤスには、売り上げの一部を筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

○販売商品

商品名	販売本数	販売価格
シャトー・クーアン・ルージュ 2013（ファーストラベル）	672	3,888 円（税込）
ムーラン・ド・クーアン 赤 2013（セカンドラベル）	672	2,700 円（税込）
ムーラン・ド・クーアン 白 2014（セカンドラベル）	672	2,700 円（税込）

○売上額 6,241,536 円（税込）

○販売会社 株式会社カクヤス

所在地：東京北区豊島 2-3-1

代表取締役社長：佐藤順一（本学第一学群社会学類：1981年卒業）

○寄附予定額 平成28年度売上分に対し 1,000,000円

■筑波大学オリジナルコーヒー事業

グローバル戦略及び世界展開力の一環として、サンパウロオフィスを開設するとともに、サンパウロ大学、サンタ・クルス病院と協定を締結した。その記念として、サンタ・クルス病院の理事長が所有する農園のコーヒーを輸入し、茨城県に本社のある株式会社サザコーヒーと提携し販売したものである。

なお、株式会社サザコーヒーには、売り上げの一部を筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

○販売商品

商品名	販売価格
筑波大学アリアンサエステートコーヒー 豆 200g	1,300円（税込）
筑波大学アリアンサエステートコーヒー カップオン（9枚入）	1,300円（税込）
筑波大学アリアンサエステートコーヒー カップオン（5枚入）	800円（税込）

○売上額 3,709,000円（税込）（平成28年10月～平成29年3月）

○販売会社 株式会社サザコーヒー

所在地：茨城県ひたちなか市勝田中央14-8（本社）

代表取締役会長：鈴木誉志男

○寄附予定額 平成28年度売上分に対し 741,800円（販売価格の20%）

[基金以外の付帯事業]

■スーツ事業

平成28年度から学生・教職員等の福利厚生のため、学生の入学時や就職活動等で必要となるスーツ等の割引販売を紳士服大手企業4社（AOKI、コナカ、洋服の青山、はるやま）と提携した。本事業は、割引販売にかかる広報に大学が協力することにより、販売価格の5%を手数料として納入してもらうもので、受入金金は学生支援等に充当する予定である。

○受入予定額 平成28年度売上分に対し 2,500,000円

■地域との関係構築

「学長を囲む会」のメンバー拡大に努め、研究成果や大学に関連する情報を発信し、地域との交流を深めた。参加者も増加し、毎回 100 名を超える規模となった。

開催日	研究紹介
平成 28 年 6 月 23 日 (木)	体育系 岡田弘隆 准教授、古川拓生 准教授 「リオオリンピックの楽しみ方」
平成 28 年 9 月 29 日 (木)	生命環境系 野村暢彦 教授 「医・食・環境にかかわる微生物制御の進展開 ～微生物も群れて会話する～」
平成 28 年 12 月 5 日 (月)	芸術系 原忠信 准教授 「ブランディング戦略」
平成 29 年 3 月 3 日 (木)	図書館情報メディア系 落合陽一 助教 「ユビキタスからデジタルネイチャーへ： メディアアート表現から産学連携を通じて未来を考える」

■卒業生との連携（筑波みらいの会）

「筑波みらいの会」とは、平成 24 年度に立ち上げられた「筑波大学出身経営者の会（仮称）」が、平成 25 年 5 月の総会において正式に発足したものである。平成 28 年度も、5 月に総会を開催し、経済界での卒業生ネットワークの拡大を図った。

同会は設立意義として次の 3 点を掲げている。

- (1) 会員同士が連携・交流すること
- (2) 会員から大学及び学生に対して貢献・支援・連携すること
- (3) 大学の成果・情報を会員に提供すること

○会員数 52 名（平成 29 年 3 月現在）

○筑波クリエイティブ・キャンプ

平成 26 年度に本学と「筑波みらいの会」の共催により、起業家養成を目的とした「筑波クリエイティブ・キャンプ（Tsukuba Creative Camp）」（略称 TCC）が開催された。また、平砂共用棟に、「筑波クリエイティブ・キャンプ」の成績優秀者が入居するインキュベーション・オフィスが設置された。平成 27 年度からは正規の授業科目として学群自由科目「筑波クリエイティブ・キャンプ」を開講し、更に平成 28 年度には学群自由科目「筑波クリエイティブ・キャンプ・ベーシック－アントレプレナー入門講座－」（春学期：受講者 38 名）及び学群自由科目・大学院共通科目「筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンスト」（秋学期：受講者 27 名）に分割して開講した。内、今年度の TCC アドバンストでは、実業界で活躍する起業家・経営者による実践的なメンタリングが行われ、最終日には投資家を招いて起業プラン発表会（発表者 9 組）が開催された。

■筑波大学交流広場事業の推進

筑波大学交流広場（旧称：筑波大学校友会）は、本学と卒業生・修了生、在学生、元教職員、教職員、課外活動団体及び各同窓会といった本学関係者との連携強化（交流促進、相互支援、最新情報共有化等）を目的として、平成24年4月から運用しているSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）である。平成28年度については、学生を中心に約5千人に生涯メールアドレスを付与（平成29年3月末における会員数：約2万2千人）しており、活用されるSNSとして、更なる充実が求められている。

■筑波大学校友会

平成28年度に準備委員会を7回開催し、平成29年1月21日に設立総会が開催され、江崎玲於奈会長、玉川信一副会長が選出された。会員は卒業生・修了生、在学生、教職員を中心として組織し、実施事業については、次の3点を掲げている。

- (1) 会員相互の交流と親睦に寄与する事業
- (2) 筑波大学との連携及び協力を推進する事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

■その他大学の取り組み

国立大学では初となるクラウドファンディング事業者とオフィシャル契約を締結し、募集を行うとともに、教育研究成果を社会に還元する「エクステンション・プログラム」を実施し、総額1,492万円の成果を挙げた。

平成 28 年度支援状況

■寄附状況

平成 28 年度は、紫峰会基金、留学生後援会基金、筑波大学附属駒場中学校・高等学校創立 70 周年記念教育支援基金、修学支援事業基金が特定基金として新設され、附属病院でも 40 周年事業基金が開始された。現金による寄附は、全体として、平成 27 年度の約 2.5 倍に増加したが、内、91.8%を、特定基金が占める結果となっている。

一般基金の収入は、使途特定分を除くと、平成 27 年度と比べ、やや増加傾向にある。但し、古本募金および給与控除による寄附については、開学 40+101 周年記念募金の募集期間（平成 25 年 1 月～平成 26 年 9 月）をピークとして、年々減少傾向にある。

財物による寄附としては、第 2 サッカー場の人工芝敷設工事、グランドピアノ等 5 件を受け入れた。第 2 サッカー場については、小学生のサッカー教室やつくば市 U-12 の選抜練習にも使用されている。

なお、基金を預けている預金利息については、普通預金金利が引き下げられたため、前年度に比べて受取利息が大幅に減少した。

■平成 28 年度実績

期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

○現金による寄附 193,988,649 円 8,102 件

区分	寄附額（単位：円）	件数
一般基金	17,105,694	4,059
筑波大学スポーツアソシエーション（TSA）事業	5,394,465	206
附属病院支援事業（40 周年事業基金を含む）	19,099,165	90
紫峰会基金 ※1	113,416,016	1,686
留学生後援会基金 ※2	18,078,324	183
附属駒場中・高 70 周年基金	57,511,841	1,893
修学支援事業基金	10,000	1
世界を変えよう基金 ※3	100,000	1
今川 FUTURE 基金 ※4	5,000,000	1
合計	235,715,505	8,120

※1…寄附額には、紫峰会からの移行資産 67,092,016 円を含む。

※2…寄附額には、留学生後援会からの移行資産 16,813,998 円を含む。

※3…一般基金（使途特定）として受け入れ、「MDW 基金運営要項」に基づき運用。

※4…修学支援事業基金として受け入れ、「筑波大学学生奨学金制度つくばスカラシップに関する要項」に基づき運用。

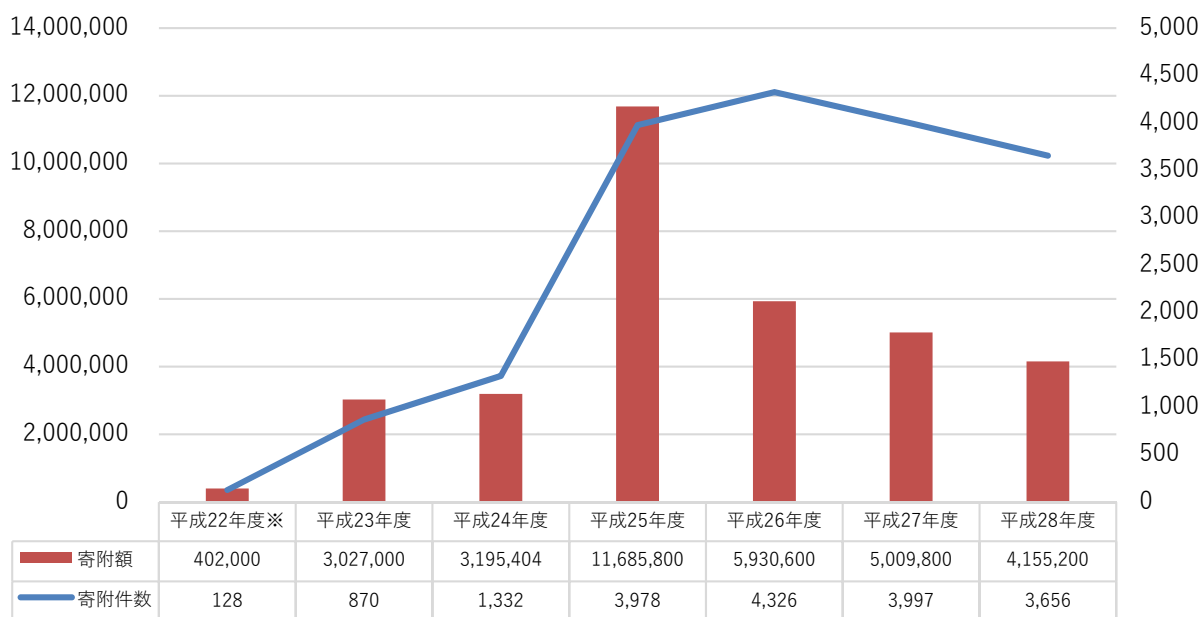
○教職員向け給与控除による寄附実績（一般基金の内訳として）

延べ 3,656 件 寄附額 計 4,155,200 円

	教員（常勤）	事務系職員（常勤）	その他※
平成 28 年度登録者数	129	174	32

※非常勤職員、附属学校教員、附属病院看護師等

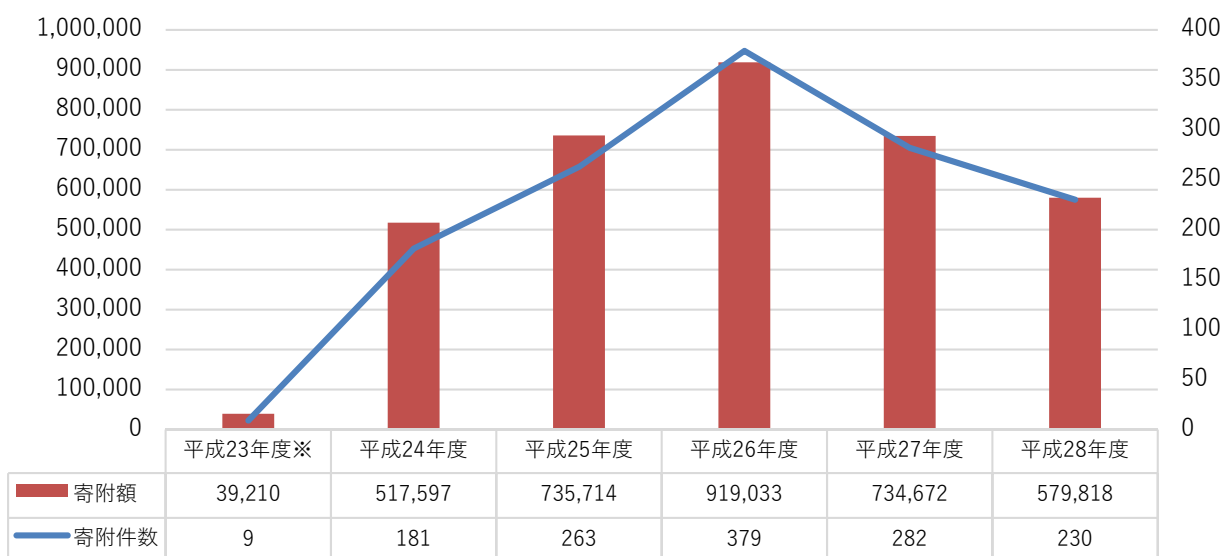
給与控除による寄附開始時からの年度別寄附額・件数



※平成 23 年 1 月～

○古本募金（一般基金の内訳として） 延べ 230 件 寄附額 計 579,818 円

古本募金開始時からの年度別寄附額・件数



※平成 24 年 3 月～

○財物による寄附 5件 154,642,652円

○預金利息 (単位：円)

	普通預金利息	前年度比	備考
三井住友銀行 つくば支店	243	-1,350	2016/2/16 変更、0.020%→0.001%
三菱東京 UFJ 銀行 本店	14	-162	2016/2/22 変更、0.020%→0.001%
常陽銀行 研究学園都市支店	360	-2,447	2016/3/1 変更、0.020%→0.001%
筑波銀行 つくば営業部	134	-1,184	2016/3/7 変更、0.020%→0.001%
合計	751	-5,143	

■筑波大学基金からの支援状況

前年度の用途特定分を除く一般基金への寄附受入実績額（平成 27 年度 12,808,747 円）を基礎とし、その 50%相当額を次の通り支援に充当した。

筑波フューチャーシッププレミアム（TSUKUBA FUTURESHP PREMIUM）については、事務局の予算で負担したため、支援金は使用しなかった。

事項	金額（単位：円）
宿舍祭	300,000
学園祭	800,000
つくばスカラシップ	4,300,000
研究助成	1,000,000
執行額計	6,400,000

なお、用途特定の寄附に基づく支援は次の通り。

事項	金額（単位：円）
附属図書館	250,000
宿舍祭（用途特定）	200,000
学生支援	400,000
硬式野球部	370,000
附属視覚特別支援学校	150,000
数理物質系数域	50,000
茗溪・学都教育助成基金	1,000,000
国際統合睡眠医科学研究機構	298,943
執行額計	2,718,943

■開学 40 + 101 周年記念募金事業からの支援状況

開学 40 + 101 周年記念募金（募集期間：平成 25 年 1 月～平成 26 年 9 月）から、40 周年記念募金 5 か年計画（平成 26 年度～平成 30 年度）に基づき、短期海外留学支援事業および附属学校の国際交流事業支援事業へ次の通り支援を行った。

事項	支援計画額	金額（単位：円）
短期海外留学支援…（1）	18,000,000	17,050,000
附属学校の国際交流事業支援…（2）	2,500,000	2,500,000
執行額計	20,500,000	19,550,000

（1）学群学生の短期海外留学支援

平成 28 年度は、17 名の学生に対し、支援を行った。

	所属	派遣先	開始日	終了日
1	人文・文化学群比較文化学類 4 年	シェフィールド大学（イギリス）	2017/2/6	2017/6/10
2	社会・国際学群国際総合学類 3 年	オハイオ州立大学（アメリカ合衆国）	2016/8/23	2017/5/7
3	社会・国際学群国際総合学類 3 年	ケルン大学（ドイツ）	2016/9/5	2017/7/28
4	社会・国際学群国際総合学類 3 年	フランシュ・コンテ大学（フランス）	2016/9/1	2017/6/30
5	社会・国際学群国際総合学類 2 年	サンパウロ大学（ブラジル）	2017/2/18	2017/6/30
6	社会・国際学群国際総合学類 3 年	オハイオ州立大学（アメリカ合衆国）	2016/8/23	2017/5/7
7	社会・国際学群国際総合学類 3 年	ケルン大学（ドイツ）	2016/9/1	2017/7/28
8	芸術専門学群 3 年	ミラノ工科大学（イタリア）	2017/3/7	2018/2/5
9	芸術専門学群 3 年	ユタ州立大学（アメリカ合衆国）	2016/8/29	2017/4/29
10	芸術専門学群 3 年	スウェーデン王立美術大学（スウェーデン）	2016/8/31	2017/6/4
11	人文社会科学研究科国際地域研究専攻 1 年	カザフ国立大学（カザフスタン）	2016/9/1	2017/6/30
12	人文社会科学研究科国際地域研究専攻 1 年	キエフ国立大学（ウクライナ）	2016/9/1	2017/6/30
13	人文社会科学研究科国際地域研究専攻 1 年	タシケント国立東洋大学（ウズベキスタン）	2017/3/1	2018/2/28
14	数理物質科学研究科物質・材料科学専攻 2 年	グルノーブル工科大学（フランス）	2016/9/1	2016/12/29
15	生命環境科学研究科生物資源科学専攻 1 年	国立台湾大学（台湾）	2016/9/1	2017/7/31
16	生命環境科学研究科生物資源科学専攻 1 年	ユタ州立大学（アメリカ合衆国）	2016/8/29	2017/9/30
17	人間総合科学科学研究科芸術専攻 1 年	スウェーデン王立美術大学（スウェーデン）	2016/8/31	2017/6/4

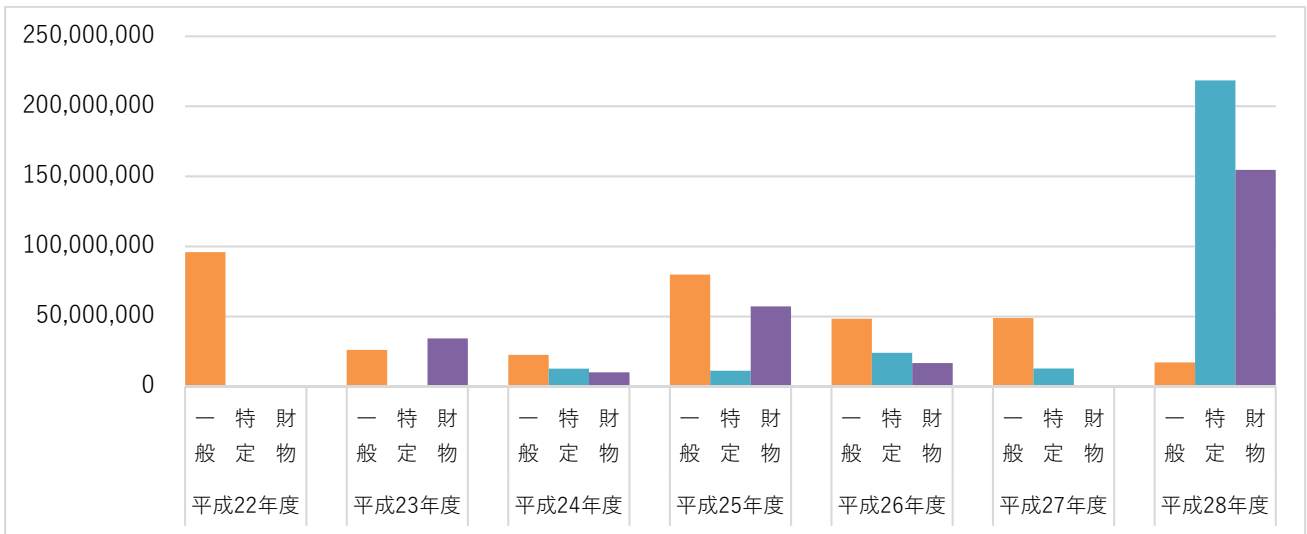
(2) 附属学校の国際交流事業支援

平成 28 年度は、次の事業への支援を行った。

学校名	事業名	実績額
附属駒場中・高等学校	「アジア諸地域の生徒・教員との国際的文化交流と研究交流の促進」 ・台湾台中第一高級中学との研究交流 平成 28 年 12 月 13～18 日、高校 1～2 年生 20 名、学校長、引率教員 4 名からなる訪問団を台湾台中第一高級中学に派遣。両校生徒による研究発表、学校紹介プレゼンテーション等を実施。 ・韓国釜山国際高校との文化交流 平成 29 年 3 月 27～31 日、高校 1～2 年生 12 名、引率教員 3 名を韓国に派遣。現地でのプレゼンテーション、釜山国際高校生徒との交流および韓国科学アカデミーの見学を実施。	※1,078,790
附属坂戸高等学校	「SGU と SGH および国際連携協定校群の連携によるグローバル人材育成のためのオープンプラットフォームスクールの構築」 ・国際的視野に立った卒業研究の支援プログラム 筑波大学の在外オフィスや連携協定を締結している大学がある国に生徒らを派遣。 ・「第 5 回高校生国際 ESD シンポジウム@東京」の開催 平成 28 年 11 月 10 日開催。附属坂戸高校の生徒が中心となり、海外連携校の高校生、他の SGH 校生とともに運営。	1,400,000

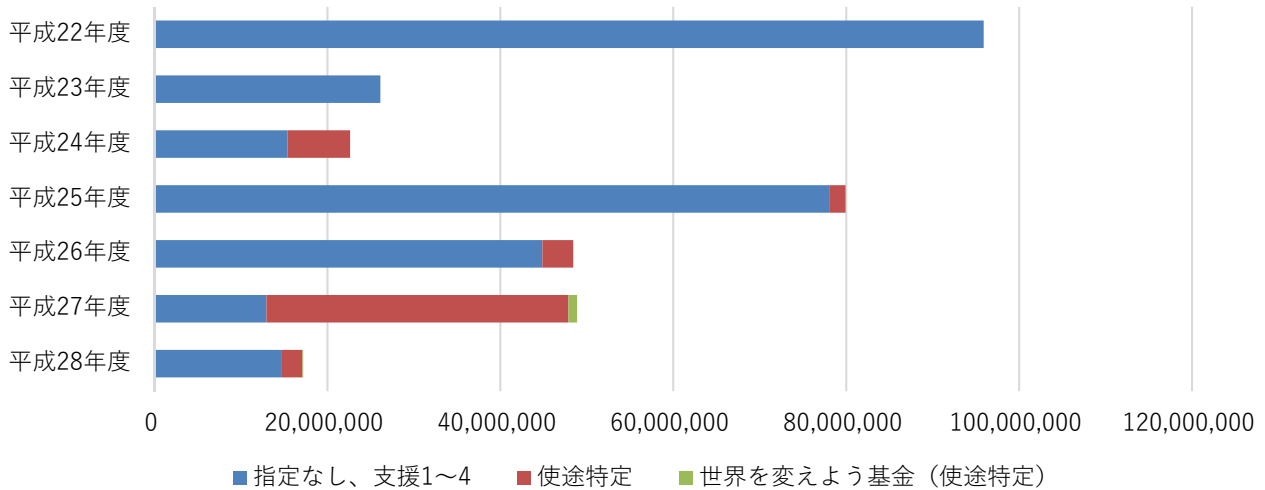
※残金 21,210 円については、平成 29 年度に繰り越すものとする。

■基金設立時からの年度別寄附額



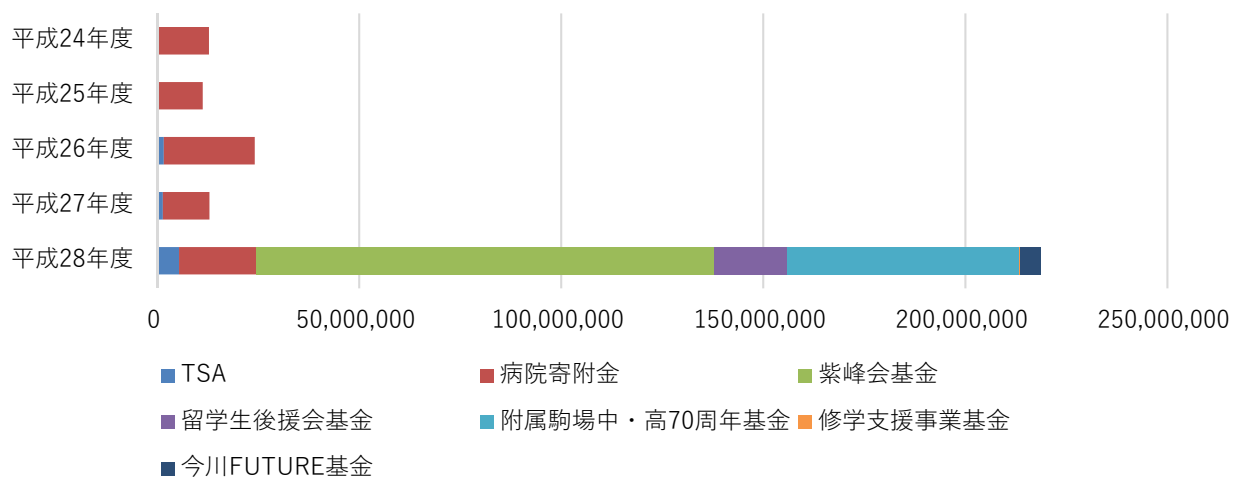
	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
一般基金	95,905,932	26,127,250	22,624,007	79,921,162	48,438,663	48,865,983	17,205,694
特定基金			12,817,020	11,253,508	24,130,094	12,906,586	218,509,811
財物寄附	0	34,413,150	10,120,468	57,148,739	16,724,024	0	154,642,652
合計	95,905,932	60,540,400	45,561,495	148,323,409	89,292,781	61,772,569	390,358,157

○一般基金年度別寄附額



	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
指定なし、支援 1~4	95,905,932	26,127,250	15,383,107	78,106,662	44,862,290	12,933,195	14,745,751
使途特定			7,240,900	1,814,500	3,576,373	34,932,788	2,359,943
世界を変えよう基金 (使途特定)						1,000,000	100,000
合計	95,905,932	26,127,250	22,624,007	79,921,162	48,438,663	48,865,983	17,205,694

○特定基金年度別寄附額



	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
TSA	256,325	342,472	1,624,275	1,400,438	5,394,465
病院寄附金 (40周年事業基金を含む)	12,560,695	10,911,036	22,505,819	11,506,148	19,099,165
紫峰会基金					113,416,016
留学生後援会基金					18,078,324
附属駒場中・高70周年基金					57,511,841
修学支援事業基金					10,000
今川 FUTURE 基金					5,000,000
合計	12,817,020	11,253,508	24,130,094	12,906,586	218,509,811